



木曽川下流自然観察会

<http://owari.eco.coocan.jp/kisogawa.html>

日時 2024年12月8日(日) 9:30~12:00 (雨~晴)

参加者 一般: 2名

指導員: 3名

テーマ 遅めの紅葉を楽しもう

この冬一番の冷え込みとなりました。北の空に冬の日本海で見られるような黒い雲が流れ、雲が来ると雨が降り、去ると晴れ間が広がるという、気まぐれな空模様でした。

かつては11月中・下旬が紅葉の時期でしたが、近年は12月にずれ込むようになりました。園内を歩くと、カエデ類はまだ緑色のものから、ちょうどよい具合に色づいたもの、すでに葉が散ってしまったものまで様々です。エノキは黄葉し始めたところで、イチョウは既にほとんど葉を落としていました。名古屋地方気象台の生物季節観測のデータを見ると、イロハカエデの紅葉は年とともに遅くなっていますが、イチョウの黄葉は早くなっていることが分かります。気温が低下してくると、葉柄の付け根に離層が形成されることで色づき始めるものなのに、カエデとイチョウでこんな違いが出るとは、自然は複雑ですね。

一方、堤防道路沿いの桜類は、紅葉する前に落葉して枝ばかりの寒々とした佇まいです。そんな中、ジュウカツザクラがまばらに花を付けていました。この花は秋から春にかけて咲くものですが、大野極楽寺公園ではエゴノキが数輪、季節外れの花を付けていました。シロダモは例年11月の観察会で咲いていますが、今回は12月でも花が残っていました。

コセンダングサは通常は筒状花ですが、時に白い舌状花を付けたものを見かけることがあります。今回、筒状花の先に白い4裂した花弁のついた花に出会いました。このタイプの花は初めて見ました。

12月ともなると、冬鳥などが飛来している時期ですが、今季は飛来が遅れているのかあまり目にしません。ツグミ、ジョウビタキは確認できましたが、アオジ、シメ、アトリ、ベニマシコなどは出ませんでした。

昨年記録を見ると、暖かで蝶が何種類も出ていましたが、さすがに冷え込んだうえ雨も降った今回は、蝶は全く飛びませんでした。

(報告: 齋竹)

<その他観察できたもの>

花: アレチハナガサ、ホトケノザ、イヌガラシ、サザンカ、 蕾: メタセコイア

実: カワラケツメイ、ラクウショウ、アキノレ、センニンソウ

鳥: トビ、オオタカ、ツグミ、メジロ、キジバト、ドバト、ヒヨドリ、セグロセキレイ、シジュウカラ、エナガ、カワラヒワ、ハシブトガラス、ハシボソガラス、ダイサギ、アオサギ、カワアイサ、カイツブリ、ジョウビタキ(声)、ウグイス(声)、モズ(声)



つかの間の晴れ間の紅葉 (日傘ではなく雨傘)



(カエデとイチョウの色づく時期の変化にびっくり)



見頃に色づいたカエデ



色づき始めたエノキ



シロダモの花と美



奇妙なコセンダングサの花